

# 未来



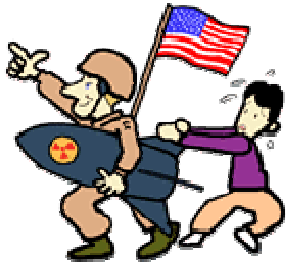
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 3862  
18年6月12日(火)  
・Fax 095-828-1953

# 米朝会談

おはようございます。

今日、六月十二日、米朝会談がシンガポールで行われる。トランプ大統領と金委員長の歴史的な出会いである。果たして一九五一年（昭和二六）年七月の朝鮮戦争の休戦協定後初めての米朝会談で、戦争終結宣言は出るのだろうか。

世界史的には、この六月十二日は、「戦争が始まった」ときとされている。いまから



まさに、この世界最大の小説「戦争と平和」のメモリアルデーに、現代の「戦争と平和」を語り、その役者が米朝のトップとなった。別に記念的に特別の意味があるとは思われないが、世界史的には東西冷戦の終わりの可能性が

二〇六年前の一八二二年のこの日、西ヨーロッパの兵力はロシアの国境を越えて、やがて戦争が始まった。つまり人間の理性と、人間の天性に反する事件が行われたのである。いく百万の人々は、互いに無数の背信による略奪と放火、殺戮を犯した。しかし、その時代にはこうした行為をした人々も、別にそれを犯罪だとは思っていないだったのである（トルストイ、「戦争と平和」から）。

あるわけで、やはり日付は気にはなる。

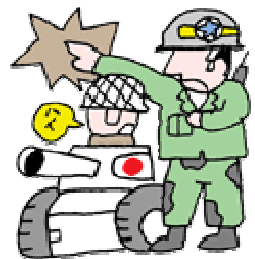
両者の会談の目的は、同床異夢である。一人は相手の核兵器を廃棄させ、一人は、自国を核保有国としての世界的に認知させる意図がある。まったく矛盾に満ちた「成果」獲得の政治劇が、カーテンの内側でくりひろげられ、それぞれの成果（満足）を語る芝居が展開する。これが政治シヨの実態である。



外交は戦争の一形態「話し合い」のだが、一方では政治でもある。政治は妥協だから、玉虫色の合意であっても会談をする。普通にはトップが会談をするときは、すでに実務者同士の合意（落としどころ）が事前に決めてあり、会談後に共同宣言か文書交換があれば、会談は成功の裡に成立したとなる。

トランプとしては、交渉がもし決裂しても、OKとしているが、どうか。もし決裂し、政治・交渉の延長線上での武力衝突「核戦争はあるのか。

事態は緊迫する中の、文字通り、戦争か平和か、なのだ。



朝鮮戦争は、一九五〇（昭和二五）年の六月に始まり、一年後の七月に休戦協定が結ばれた。南北両国の戦闘から中国や米軍などの参加で、中国の侵略決議などが国連で決議されたり、アメリカのトルーマン大統領の核兵器使用発言などが入り乱れ、混乱した。

休戦の背景は、一九四九年にはソビエトが原爆実験に成功し、世界が東西冷戦下に入り、朝鮮半島の戦争も拡大がアメリカや西側諸国の戦略となり、拡大を唱えたマッカーサー連合軍司令官が解任される状況下で行われた。

そしていま、ソビエトの崩壊で東西冷戦は終了し、冷戦下で起きた分裂国家の三つのうち、ドイツとベトナムも統一がなり、残るは朝鮮のみという図式で、あらたに米中の接近というなか、朝鮮半島の安定、非核化は、南北両者や周辺国の共同目標となっているのだ。ともあれ、結果を注目したい。

## パワハラ解雇裁判の支援の傍聴を

先日、長崎市内の広告会社のプラネットの子会社の解雇事件の裁判を傍聴した会社側（被告）の証人が出廷した。解雇の当事者の元常務社長、創業者でオーナーたちであった。

「私の会社は、残業代は出ない」と言い放つ経営者が目の前にいる。しかもみんな横柄極まりない。中川弁護士に「なんでそんなことを聞くのか」と食って掛かる。

さすがに裁判所から注意されて、小さい声で返答をしていたが、いずれもパワハラの言動を全く否定せず、それがなにか問題でも「居直る。法律違反の罪の意識がまるで



ない人たち。この会社幹部に、法廷内は怒り、驚いた。原告も平然とウソを並べる証人に

怒りのあまり、体調を崩され、いたたまれず、退室を余儀なくされるほどの、ひどい証人の証言であった。



一人の労働者をパワハラでいじめ、苦しめ、うつ病を発症させ、労災適用となっている人を解雇し、いまなお、その人が会社を誹謗中傷している、と批判し、「私だったらそんな者は採用しなかった」「これは経営者の勘だ」とうそぶく姿に、会社や経営者の非人間的な現実を改めて感じた。

傍聴席には支援の仲間が十人ほどいたが、もともと裁判は原告一人が始めたたたかいである。原告としては生きるための最低限の抵抗だと思っしかし、あんなにひどい経営者が相手だ。本当に大変だと思っ。私たちがもう少し支援の輪を広げて、原告や家族を励ましたい。

次回は六月十五日（金）、十三時から、長崎地裁の別館二階で、原告本人の証言が予定されている。ぜひ参加を。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者社員の正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！